

1 単元名 「I like Mondays.」

2 単元について

本単元の主なねらいは、既習の I like ~. という表現を Sunday, Monday, … という曜日を表す新出表現と組み合わせ、友達同士で何度もやりとりすることによって新出表現に慣れ親しんでいき、自分の好きな曜日について伝えたり、友達の好きな曜日を尋ねたりすることである。その際には、友達に共感を示す Me, too. などの表現や、互いにコミュニケーションを気持ちよく行うことができるような態度も意識しながら伝え合うことが重要である。

これまで児童は既習表現である I like ~. を用いて、身近な人・もの・ことについて自分の好きなものを伝える経験を重ねている。本単元においても児童にとって身近な曜日を題材として扱い、児童が曜日について考える際には、学校の時間割や給食などと曜日を結びつけて扱うことによって、「○曜日は～の勉強があるから好き。」などと、好きな理由に着目して自分の好きな曜日を選択したり、「○曜日は～があるから好きじゃないだろう。」などと相手の好みを予想して友達の好きな曜日を尋ねたりすることができる。このように、理由に着目して伝え合いができる単元を生かし、自分と友達を比較して共感する思いを膨らませたり、1度のやりとりの回数が増えたりする姿を目指すことによって、コミュニケーションを図るよさや楽しさを実感する姿へとつなげていきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

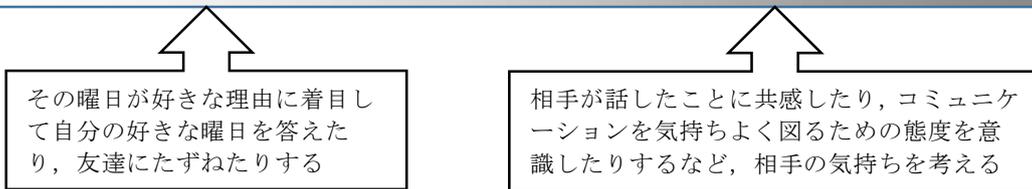
様々なゲーム等によって何度も聞いたり、言ったりする活動を通して、Sunday, Monday, … などの曜日を表す新出表現に慣れ親しみ、相手に配慮しながら自分の好きな曜日を答えたり、相手の好きな曜日を尋ねたりして伝え合うことができる。

(2) 単元の評価規準

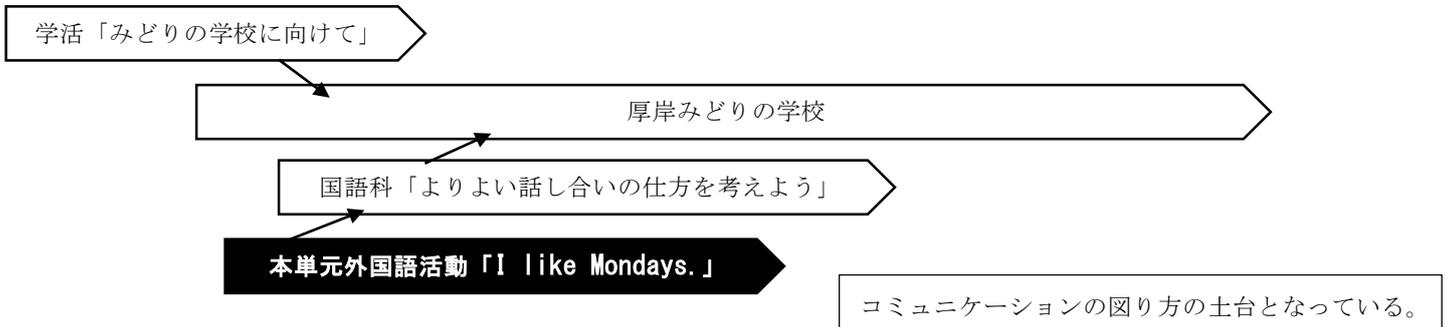
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
ア 曜日を表す新出表現を教師の発音を進んで聞いたり、まねたりし、ゲーム等を通して自分から言おうとしている。 イ 共感する言葉を伝えたり、コミュニケーションを気持ちよく図る態度を意識しながら、自分や友達の好きな曜日について尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。	ア 自分の好きな曜日を答えたり、友達の好きな曜日を尋ねたりしてやりとりしている。 イ 自分の好きな曜日を好きな理由とともに答えたり、友達の好きな曜日を尋ねたりしてやりとりしている。	ア 世界の同年代の子供たちの生活を知り、自分との比較して共通点や相違点に気付いている。

4 本単元において育みたい自律性と、働かせる「見方・考え方」

コミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知り、相手意識をもってコミュニケーションを図る姿



5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり



- 1 映像を見ることによって、世界の同年代の子供たちの生活と自分を比較したり、新出表現の意味や使用場面を理解したりする。【関ア・気ア】

友達の好きな曜日をたずねよう！

【個の確立】世界の子供たちの生活を映像で提示することにより、子供が自分と比較して1週間の生活について考えるように興味を喚起し、ゲーム等を通して新出表現を何度もくり返し聞いたり言ったりし、楽しみながら曜日の言い方に親しむ姿を引き出す。

【見方・考え方を働かせる】

- ・教師が新出の表現を含む映像を提示して感想を問い、言語化することによって、児童が世界の同年代の生活と自身を比較し、共通点と相違点に着目して捉える姿につなげる。
- ・新出表現の曜日と自分の好きなものを伝えたり (I like ~) 相手に好きなものを尋ねたりする (Do you like ~? などの) 既習表現を組み合わせることを「好き」をキーワードとして挙げ、想起できるようにする。

【個の内面化】

- ・本時に学習したことを振り返り、言語化させることによって、わかったことや思ったことの中に、自分・友達・世界の子供の生活について感想をもったり、新出表現の自信につなげたりできるようにする。【1】

- 2 1週間の時間割を使って、自分の好きな曜日を答えたり、友達の好きな曜日を尋ねたりする活動を行う。【関イ慣ア】

【個の確立】1週間の時間割表の中から自分の好きな曜日を選択させることにより、好きな理由に根拠をもって曜日を選択できるようにする。

【見方・考え方を高める】

- ・課題を「友達の好きな曜日をたずねよう」から「友達と好きな曜日を伝え合おう！」に変更する。何が違うのかを児童同士の対話によって、自分と相手の双方に伝わらないといけないことに着目させ、表現内容と態度の両方が伴ったり、相手の気持ち次第で「伝え合う」というコミュニケーションが図れないということに気付かせ、その後の活動に生かせるようにする。

友達と好きな曜日を伝え合おう！

【個の内面化】

- ・本時に学習したことを「今日の学習で大事なことは何だったのか」などと問うて児童に言語化させることにより、本時の学習過程を振り返る子供の姿につなげる。【1】

- 3 1週間の時間割に給食の献立表を加えた表を使って、自分の好きな曜日を理由がわかるように答えたり、友達の好きな曜日を予想して尋ねたり答えたりする活動を行う。【関イ慣イ】

友達と好きな曜日を伝え合おう！

【個の確立】前回と違う1週間の表を提示することにより、伝え合う方法に見通しをもちながらも前回とは違う状況の中で自分の好きな曜日を選択し、その理由に根拠をもって曜日を選択できるようにする。

【見方・考え方を働かせる】

- ・ペアのやりとりを取り上げて全体で見た後、そのペアがお互いに気持ちよくコミュニケーションが図れたかどうか、児童同士の対話によって判断することによって、児童が相手に配慮して伝え合う姿を表現面と態度面を関連付けて判断し、よりよいコミュニケーションについて考える力を高められるようにする。

【個の内面化】

- ・本時にわかったこと・思ったことや、3時間を通して変わったことなどを問うて児童に言語化させることによって、自身の成長やコミュニケーションを図るよさを感じながら振り返ることができるようにする。【1】

7 本時について (2/3 時間目)

(1) 本時の目標

1 週間の時間割を基に自分や相手の好きな曜日を考え、既習の I like ~. Do you like ~?などの表現と Sunday, Monday, …といった新出表現を組み合わせる自分の好きな曜日を答えたり、友達の好きな曜日を尋ねたりし、共感など相手に配慮しながら友達と好きな曜日を伝え合うことができる。【関イ慣ア】

一貫した主体的学びを「つなぐ」ために (個の内面化)

- ・授業の終末において、「今日の学習で大事なことは何か」などと問うて言語化させることによって、児童が本時の学習過程を振り返ることができるようにする。

(3) 本時の展開

学習活動	主な働きかけ・手立て	【評価】 個に応じた指導 (▲)
<p>1 新出表現の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れていた曜日や Do you like ~?などの聞く言い方を確認できてよかったな。 ・好きな曜日を今日も尋ねられそうだな。 <p style="text-align: center;">友達の好きな曜日をたずねよう!</p> <p>2 時間割を基に、自分の好きな曜日を答えたり、友達の好きな曜日を尋ねたりする活動をペアを変えながら行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図工があるから私は月曜日が好きだな。 ・ぼくは体育が好きで算数が嫌いだから木曜日がいい。 ・相手が好きなものを選ぶように、What ○○ do you like?で聞いてみよう。 ・○○君が△△が好きなのを知っているから、Do you like Fryday?って聞こう。 ・I like Monday.って言ってたけど、図工が好きだからかな。 ・自分と同じ曜日が好きな人がいて嬉しい。 ・どんどん色々な友達に聞いていきたいな。 <p>3 見本のペアのやりとりのよさについて考え、それらを生かしながら活動を続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんでその曜日が好きかを伝えているね。 ・I like Monday.と I like Art.って二つ自分の好きなものを伝えていてすごい。 ・理由も伝えた方が詳しく知れて嬉しい。 ・自分も好きな曜日とその理由を言ってみよう。 ・教科の言い方ってなんだっけ?確認したいな。 ・もう1回活動をやりたいな。 ・色々なペアとやりとりする内に言えるようになった。 <p style="text-align: center;">友達と好きな曜日を伝え合おう!</p> <p>4 「友達と好きな曜日を伝え合うこと」とはどういうことか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに相手に伝わらないと伝え合いじゃない。 ・意味が伝わらないとだめだと思ふ。 ・意味だけ伝わってればいいというわけじゃない。 ・態度もよくしないといけないと思ふ。 ・全部が伝わらないとだめだと思ふ。 ・相手の気持ちを考えると伝え合いになりそうだ。 	<p>【個の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> □全員で声を合わせながら復習することによって、自信のない表現の確認をしやすい雰囲気を作る。 □曜日ごとに異なる特徴がある時間割表を提示することによって、児童が自分の好きな曜日に根拠をもって選択できるようにする。 <p>【見方・考え方を働かせる】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ペアを変えて活動させることによって、相手に応じて What ○○ do you like? や Do you like ○○?などを用いてやりとりする姿を引き出す。 <p>□好きな曜日とその理由を伝えてやりとりしているペアを見本として発表させることによって、理由も伝えるよさについて考えさせたり、理由を伝える方法に見通しをもったりできるようにする。必要に応じて教科の言い方を確認する。</p> <p>【見方・考え方を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> □児童の活動を価値づけた上で、課題を変更し、これまでの課題と比較させ、児童同士の対話によって、双方向のコミュニケーションが必要であることに気付けるようにする。その上で、児童のやりとりの見本から、相手の気持ちを基に、伝え合いができたかどうかを判断していくという考え方を引き出すようにし、相手意識を高めていく。 <p>□再度ペアを変えて活動することによって、児童が対話によって見出した相手意識の価値を活動中に感じられるようにする。</p> <p>【個の内面化】</p> <ul style="list-style-type: none"> □「今日の学習で大事なことは何か」などを問いかけ、言語化させる。【I】 	<p>▲曜日の言い方に自信がもてない児童にはそばに行き、発音などの確認をする。</p> <p>▲教科の言い方に自信がもてない児童にはそばに行き、発音などの確認をする。</p> <p>【やりとり】 慣ア</p> <p>【発言・やりとり】 関イ</p> <p>【発言・ワークシート】 関イ・慣ア</p>

